

歯を長持ちさせるポイント

Point 1 早めの受診

痛みや違和感があるときは早めに受診し、初期段階で治療することが大切です。症状が進行してしまってからでは治療期間が長くなり通院回数も増え、治療費の負担も大きくなります。また、症状の進行具合によっては歯を抜くことになる場合もあります。早期発見・早期治療で天然の歯を長持ちさせましょう。



Point 3 ホームケアとプロケアの両立

「毎食後歯磨きしているのに、どうしてもむし歯になるの?」といった声を聞きますが、歯磨きの方法が正しくない、磨けていない部分がある、といったことがよくあります。毎日の歯磨きは大切ですが、歯磨き方法が正しくないと効果がありません。日々のホームケアと定期的なプロケアの両立が歯を長持ちさせる秘訣です。



Point 2 定期的なお口のチェック

自覚症状がなくても、むし歯や歯周病にかかっている場合があります。歯科医院での定期的なお口のチェックで、歯を失う原因の多くを占めるむし歯と歯周病を予防しましょう。



Point 4 治療から予防へ

歯は治療を繰り返すたびに削られ、どんどん小さくなってしまいます。そして、歯を残すことが難しくなると抜くことに。そうならないために、治療のサイクルから予防のサイクルへ切り替えましょう。

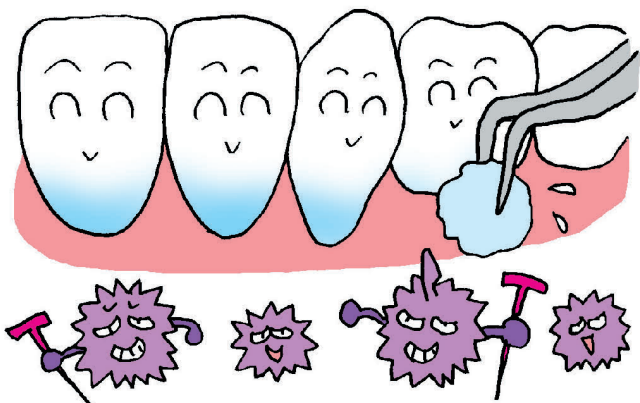


歯ぐきが下がって歯の根元の部分が見えてきたら

フッ素塗布で歯をコーティング!

年齢と共に歯ぐきは下がります。歯の根っこの部分は歯質が弱いため、むし歯になりやすく、知覚過敏の原因にもなります。定期的に歯科医院でフッ素を塗り、歯質の弱い根元の部分をコーティングしましょう。

歯ぐきが下がると、根面う蝕や知覚過敏の原因に...



子供たちにやるものじゃないの



定期的に歯科医院でフッ素を塗ろう!

